



# 生体歯科補綴学分野

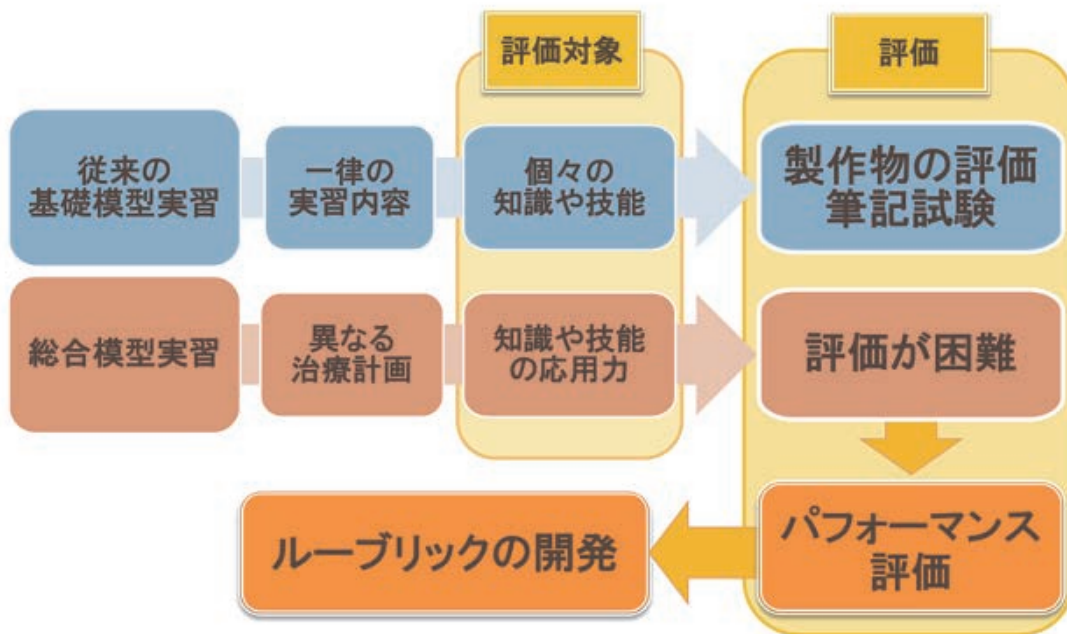
## 研究 — Research —

### 「総合模型実習におけるルーブリックを用いた評価とその信頼性の研究」

昨今の歯学教育においては多様化する患者のニーズに応え得る臨床能力の確保向上が求められており、その中でも治療計画立案能力は重要な歯科臨床能力の1つです。

新潟大学歯学部では、学部教育において治療計画立案に関する特色ある基礎実習を多く取り入れており、当分野でも5年次に歯科の臨床で高頻度に治療対象となる齲蝕、歯の欠損、歯周病等、あらゆる疾患を再現した模型を使って与えられた患者の情報から治療計画を立案し、模型上で適切な処置を行う実習を行なっています。

また、今まで学習成果の評価が難しかった治療計画立案能力を独自のワークシートとルーブリックを用いて評価する取り組みを行なっています。



### 歯科臨床能力の定義

	情報収集分析	診断	治療方針 治療計画の決定	インフォームド コンセント	治療の実践と 結果の評価	治療方針・ 治療計画 の見直し
観点	病的所見と 診断	治療方針の 決定	治療計画 立案	治療の実践と 方針・計画の 再検討	専門用語と 表現	
	歯科情報の収集・分析 と歯科疾患の診断	患者情報を統合した 治療方針の決定	治療方針にそった 治療計画の立案	治療実践後の 振り返り	歯科専門科としての 表現	
レベル3						
レベル2						
レベル1						
レベル0						
ワークシート	1	2	3	4	1,2,3,4	

### 各レベルの評価基準に関する記述